

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月9日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 フォトロン
 コード番号 6879 URL <http://www.photron.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 塚田真人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 社長室長

(氏名) 竹岡峰夫

TEL 03-3238-2170

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	4,404	1.1	164	△13.9	168	△5.4	59	△3.9
22年3月期第3四半期	4,356	△17.2	191	△74.5	178	△81.1	61	△89.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	8.16	—
22年3月期第3四半期	8.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	5,404	3,734	66.6	492.87
22年3月期	5,671	3,794	64.5	501.04

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 3,596百万円 22年3月期 3,656百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
23年3月期	—	0.00	—		
23年3月期 (予想)				10.00	10.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,670	0.1	500	△17.8	500	△18.8	300	△16.9	41.11

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.**「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名

）、除外 一社（社名

）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 7,547,550株 22年3月期 7,547,550株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 250,111株 22年3月期 250,042株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 7,297,456株 22年3月期3Q 7,297,508株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. その他の情報	5
(1) 重要な子会社の異動の概要	5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	5
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	5
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書	8
【第3四半期連結累計期間】	8
【第3四半期連結会計期間】	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	16
4. 補足情報	17
生産、受注及び販売の状況	17

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、新興国の需要や景気対策などに支えられ緩やかな回復基調にあるものの、円高傾向の継続、海外経済の減速感、景気対策効果の一巡など、今後の見通しについては依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の下で、当社グループでは、主力の高速度デジタルビデオカメラにおいて、国内外ともに研究開発投資予算額の縮小により、需要が低価格品にシフトしたことに伴い、廉価品や値引販売などによる競合が激化したことに加え、引き続きの円高による海外での価格競争力の低下などにより売上高、利益共に前年同期を下回る結果となりました。その他の分野においても、競合激化などにより苦戦いたしました。このような結果、連結売上高14億5千1百万円（前年同期比0.4%増）、連結営業利益1千8百万円（前年同期比74.2%減）、連結経常利益4千2百万円（前年同期比44.2%減）、連結四半期純利益3千2百万円（前年同期比29.1%減）となりました。

平成23年3月期第1四半期に係る連結経営成績に関する定性的情報については、平成23年3月期第1四半期決算短信（平成22年8月11日開示）を、平成23年3月期第2四半期に係る連結経営成績に関する定性的情報については、平成23年3月期第2四半期決算短信（平成22年11月11日開示）をご参照ください。

セグメントの業績を示すと、次のとおりです。

①イメージングシステム事業

高速度デジタルビデオカメラにおいて、国内・海外ともに、研究開発投資予算額の縮小による需要の低価格品シフトに伴い、競合他社との販売競争が激化し、特に海外市場においては円高傾向の継続による海外競合企業との価格面での影響が引き続き現れました。新規市場及びミドルレンジ市場攻略に向けた製品開発に注力しており、第4四半期以降に順次、成果が現れることを見込んでいます。このような結果、売上高8億3百万円、セグメント利益8千4百万円となりました。

②ソリューション事業

プロフェッショナル映像システム分野では、引き続き景気減速の影響により低調な需要の中、見込み案件を確実に押さえることができ、また高速度デジタルビデオカメラのテレビ放送や映画制作向けレンタル案件は堅調に推移してきております。教育映像システム分野では、販売会社との協業により学校案件などを成約することができました。CAD関連製品分野では、競合他社からの乗換えキャンペーンなどを継続しておりますが、バージョンアップ効果にもやや陰りが出始めております。医用画像システム分野では、装置メーカーや医療商社等との販売協力体制が定着し、引続き他社装置からの転換も増加するなど順調に推移いたしました。このような結果、売上高4億1千6百万円、セグメント損失3千万円となりました。

③LSI開発事業

業務用映像出力機器は、フラットパネルディスプレイを中心に堅調に推移しておりますが、民生用プロジェクトは伸び悩みを見せております。また、円高傾向継続の影響が直接輸出、セットメーカーの輸出にも影響しました。一方、研究開発費の計上の一部がこの第3四半期にずれ込んだため、営業利益が縮小することとなりました。このような結果、売上高2億3千2百万円、セグメント損失3千5百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

1)資産

流動資産は、第2四半期連結会計期間末に比べて0.8%増加し、45億3千4百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金やたな卸資産が増加したことなどによるものであります。

固定資産は、第2四半期連結会計期間末に比べて0.9%減少し、8億6千9百万円となりました。これは、有形固定資産の減価償却などによるものであります。

この結果、総資産は第2四半期連結会計期間末に比べて0.5%増加し、54億4百万円となりました。

2)負債

流動負債は、第2四半期連結会計期間末に比べて0.2%減少し、15億3千4百万円となりました。これは、未払法人税等や賞与引当金の減少などによるものであります。

固定負債は、第2四半期連結会計期間末に比べて2.8%増加し、1億3千4百万円となりました。これは、退職給付引当金や役員退職慰労引当金の増加などによるものであります。

この結果、負債合計は第2四半期連結会計期間末に比べて0.1%増加し、16億6千9百万円となりました。

3)純資産

少数株主持分を含めた純資産合計は、第2四半期連結会計期間末に比べて0.7%増加し、37億3千4百万円となりました。主な増額要因は、利益剰余金の増加であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、資金という。）は、第2四半期連結会計期間末に比べて3億2千7百万円減少し、23億2千万円（前年同期は19億5千9百万円）となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

1)営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は3億1千3百万円となりました（前年同期は4千3百万円の使用）。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益4千5百万円、仕入債務の増加額1億5百万円などであり、一方支出の主な内訳は、売上債権の増加額1億6千9百万円、たな卸資産の増加額1億6千4百万円、法人税の支払額8千8百万円などであります。

2)投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は1千3百万円となりました（前年同期は3千3百万円の使用）。

支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出1千6百万円などであります。

3)財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の増減はありません（前年同期は変動なし）。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想は、平成22年11月11日に発表した内容から変更はありません。

詳細は、平成22年11月5日に開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

2 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

3 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

1 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は、それぞれ1,830千円減少し、税金等調整前四半期純利益は、16,112千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は1,830千円であります。

2 企業結合に関する会計基準等の適用

第2四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

3 四半期連結損益計算書関係の表示方法

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用に伴い、当第3四半期連結累計期間及当第3四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,321,529	2,338,523
受取手形及び売掛金	1,180,720	1,691,805
たな卸資産	774,140	560,834
繰延税金資産	72,091	68,040
その他	185,538	102,453
流動資産合計	4,534,022	4,761,655
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	498,843	498,843
減価償却累計額	△401,015	△391,517
建物及び構築物(純額)	97,827	107,325
機械装置及び運搬具	100,013	102,465
減価償却累計額	△87,349	△85,034
機械装置及び運搬具(純額)	12,664	17,431
土地	337,974	337,974
その他	473,243	460,188
減価償却累計額	△379,834	△365,259
減損損失累計額	△2,109	△2,160
その他(純額)	91,299	92,767
有形固定資産合計	539,766	555,499
無形固定資産		
ソフトウェア	50,176	54,745
その他	7,778	7,918
無形固定資産合計	57,954	62,664
投資その他の資産		
投資有価証券	12,043	11,996
関係会社株式	31,300	30,300
敷金及び保証金	111,807	128,889
繰延税金資産	60,608	60,627
再評価に係る繰延税金資産	21,011	21,011
その他	35,506	38,800
投資その他の資産合計	272,276	291,624
固定資産合計	869,997	909,788
資産合計	5,404,019	5,671,444

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	521,590	598,230
短期借入金	750,000	750,000
1年内返済予定の長期借入金	—	50,000
未払金	40,448	51,299
未払法人税等	42,766	50,357
繰延税金負債	3,138	3,481
賞与引当金	—	42,066
その他	176,618	204,712
流動負債合計	1,534,562	1,750,148
固定負債		
長期未払金	45,208	46,924
繰延税金負債	9,468	4,745
退職給付引当金	23,581	22,726
役員退職慰労引当金	52,273	48,469
その他	3,929	3,929
固定負債合計	134,462	126,795
負債合計	1,669,025	1,876,944
純資産の部		
株主資本		
資本金	504,600	504,600
資本剰余金	400,692	400,692
利益剰余金	3,016,849	3,030,281
自己株式	△108,799	△108,771
株主資本合計	3,813,342	3,826,802
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,007	△1,035
繰延ヘッジ損益	—	△1,254
土地再評価差額金	△30,486	△30,486
為替換算調整勘定	△185,183	△137,691
評価・換算差額等合計	△216,677	△170,468
少数株主持分	138,329	138,165
純資産合計	3,734,994	3,794,499
負債純資産合計	5,404,019	5,671,444

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	4,356,456	4,404,659
売上原価	1,775,423	1,865,177
売上総利益	2,581,033	2,539,482
販売費及び一般管理費	2,389,613	2,374,599
営業利益	191,420	164,883
営業外収益		
受取利息	3,377	13,520
受取配当金	397	350
受取賃貸料	17,758	17,361
雑収入	13,923	2,678
営業外収益合計	35,456	33,911
営業外費用		
支払利息	8,902	8,756
為替差損	39,532	21,264
雑損失	42	13
営業外費用合計	48,477	30,034
経常利益	178,399	168,759
特別利益		
固定資産売却益	10,090	3,156
保険解約返戻金	17,280	—
負ののれん発生益	—	1,097
特別利益合計	27,371	4,254
特別損失		
固定資産売却損	336	—
固定資産除却損	2,481	128
投資有価証券評価損	12,500	—
役員退職慰労金	17,098	—
減損損失	2,236	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	14,282
持分変動損失	—	258
特別損失合計	34,652	14,670
税金等調整前四半期純利益	171,117	158,343
法人税等	110,406	88,625
少数株主損益調整前四半期純利益	—	69,718
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1,224	10,175
四半期純利益	61,935	59,542

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	1,446,574	1,451,899
売上原価	591,437	610,936
売上総利益	855,136	840,962
販売費及び一般管理費	784,407	822,699
営業利益	70,729	18,263
営業外収益		
受取利息	380	4,850
受取配当金	100	152
受取賃貸料	5,512	5,850
為替差益	—	15,357
雑収入	3,286	994
営業外収益合計	9,278	27,205
営業外費用		
支払利息	2,832	2,788
為替差損	773	—
雑損失	34	—
営業外費用合計	3,640	2,788
経常利益	76,367	42,680
特別利益		
固定資産売却益	170	2,595
特別利益合計	170	2,595
特別損失		
固定資産売却損	5	—
固定資産除却損	1,519	—
特別損失合計	1,525	—
税金等調整前四半期純利益	75,012	45,275
法人税等	22,867	15,754
少数株主損益調整前四半期純利益	—	29,521
少数株主利益又は少数株主損失(△)	6,514	△2,848
四半期純利益	45,631	32,369

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	171,117	158,343
減価償却費	71,426	63,326
減損損失	2,236	—
負ののれん発生益	—	△1,097
持分変動損益(△は益)	—	258
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	14,282
為替差損益(△は益)	△4,844	3,257
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,225	855
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△26,734	3,804
賞与引当金の増減額(△は減少)	△42,750	△42,066
投資有価証券評価損益(△は益)	12,500	—
有形固定資産売却損益(△は益)	△9,754	△3,156
有形固定資産処分損益(△は益)	2,481	128
受取利息及び受取配当金	△3,774	△13,871
支払利息	8,902	8,756
売上債権の増減額(△は増加)	210,757	487,145
たな卸資産の増減額(△は増加)	117,913	△229,006
仕入債務の増減額(△は減少)	△229,403	△50,736
その他の資産の増減額(△は増加)	△39,515	△46,027
その他の負債の増減額(△は減少)	△48,696	△33,723
小計	194,087	320,473
利息及び配当金の受取額	3,774	13,871
利息の支払額	△7,972	△7,863
法人税等の支払額	△256,201	△121,368
営業活動によるキャッシュ・フロー	△66,312	205,112
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△178,751	—
定期預金の払戻による収入	30,156	15,570
有形固定資産の取得による支出	△19,020	△34,630
有形固定資産の売却による収入	23,600	4,410
無形固定資産の取得による支出	△18,973	△13,968
子会社株式の取得による支出	—	△10,640
子会社の自己株式の処分による収入	—	3,040
貸付金の回収による収入	1,860	1,890
その他	431	195
投資活動によるキャッシュ・フロー	△160,697	△34,132

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△50,000	△50,000
自己株式の取得による支出	—	△27
配当金の支払額	△72,975	△72,975
少数株主への配当金の支払額	△1,048	△1,573
財務活動によるキャッシュ・フロー	△124,023	△124,575
現金及び現金同等物に係る換算差額	11,521	△45,521
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△339,512	882
現金及び現金同等物の期首残高	2,298,695	2,319,913
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,959,183	2,320,795

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

	映像情報機器 事業(千円)	LSI開発事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
1 外部顧客に対する売上高	1,144,710	301,863	1,446,574	—	1,446,574
2 セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,144,710	301,863	1,446,574	—	1,446,574
営業利益	17,463	53,266	70,729	—	70,729

(注) 1 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要な製品
映像情報機器事業	Imaging Systems Solution Systems Professional Systems
LSI開発事業	画像処理用LSI

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	映像情報機器 事業(千円)	LSI開発事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
1 外部顧客に対する売上高	3,640,062	716,394	4,356,456	—	4,356,456
2 セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,890	1,890	(1,890)	—
計	3,640,062	718,284	4,358,346	(1,890)	4,356,456
営業利益又は営業損失(△)	205,550	△ 14,130	191,420	—	191,420

(注) 1 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要な製品
映像情報機器事業	Imaging Systems Solution Systems Professional Systems
LSI開発事業	画像処理用LSI

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
1 外部顧客に対する売上高	983,082	171,194	292,297	1,446,574	—	1,446,574
2 セグメント間の内部 売上高又は振替高	331,788	16,780	4,316	352,885	(352,885)	—
計	1,314,870	187,975	296,613	1,799,459	(352,885)	1,446,574
営業利益	8,686	8,548	55,188	72,423	(1,694)	70,729

- (注) 1 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
 2 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。
 (1) 北米・・・米国
 (2) 欧州・・・英国

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
1 外部顧客に対する売上高	2,938,547	591,279	826,630	4,356,456	—	4,356,456
2 セグメント間の内部 売上高又は振替高	984,138	38,148	10,511	1,032,798	(1,032,798)	—
計	3,922,685	629,428	837,141	5,389,254	(1,032,798)	4,356,456
営業利益	35,092	49,315	126,070	210,478	(19,058)	191,420

- (注) 1 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
 2 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。
 (1) 北米・・・米国
 (2) 欧州・・・英国

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

	北米	欧州	その他の地域	連結
I 海外売上高(千円)	187,960	292,297	77,858	558,116
II 連結売上高(千円)				1,446,574
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	13.0	20.2	5.4	38.6

(注) 1 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

北米・・・・・・・・米国、カナダ

欧州・・・・・・・・欧州諸国

その他の地域・・・中国、韓国

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	北米	欧州	その他の地域	連結
I 海外売上高(千円)	662,743	826,630	255,119	1,744,492
II 連結売上高(千円)				4,356,456
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	15.2	19.0	5.9	40.0

(注) 1 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

北米・・・・・・・・米国、カナダ

欧州・・・・・・・・欧州諸国

その他の地域・・・中国、韓国

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に製品・サービス別の事業部を置き、各事業部は取扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。また、L S I 開発においては連結子会社であるアイチップス・テクノロジー(株)が、医用画像機器においては連結子会社であるフォトン メディカル イメージング(株)が、その取扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは事業部及び連結子会社を基礎として、類似の製品・サービスについては意思決定や業績評価を取りまとめる単位をセグメントとして構成されており、「イメージングシステム事業」「ソリューション事業」及び「L S I 開発事業」の3つを報告セグメントとしております。

「イメージングシステム事業」は、高速度デジタルビデオカメラ等の製造販売を行っております。「ソリューション事業」は、プロフェッショナル向け映像機器、教育関連映像機器、CADソフトウェア及び医用画像機器等の製造販売及び輸入販売を行っております。「L S I 開発事業」は、画像処理用L S I の開発及び販売を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	イメージングシステム	ソリューション	L S I 開発	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,289,435	1,258,215	857,008	4,404,659	—	4,404,659
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	3,386	3,386	△3,386	—
計	2,289,435	1,258,215	860,394	4,408,045	△3,386	4,404,659
セグメント利益又は損失(△)	159,408	△75,921	81,396	164,883	—	164,883

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結会計期間(自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	イメージングシステム	ソリューション	L S I 開発	計		
売上高						
外部顧客への売上高	803,314	416,109	232,474	1,451,899	—	1,451,899
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	822	822	△822	—
計	803,314	416,109	233,296	1,452,721	△822	1,451,899
セグメント利益又は損失(△)	84,758	△30,793	△35,701	18,263	—	18,263

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期連結会計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
イメージングシステム事業	601,471	—
ソリューション事業	139,156	—
L S I 開発事業	222,080	—
合計	962,707	—

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 金額は、製造原価(販売価格)によっております。
 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当社グループは、需要予測に基づく見込生産を行っているため、該当事項はありません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結会計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
(製品)		
イメージングシステム事業	720,472	—
ソリューション事業	249,839	—
L S I 開発事業	232,474	—
製品計	1,202,787	—
(商品)		
イメージングシステム事業	82,842	—
ソリューション事業	166,269	—
商品計	249,112	—
合計	1,451,899	—

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。